

岐阜清流長良川ウォーキングを実施
桜並木を散策し交流を深め合う

通信員 傍島征夫

JAM岐阜シニアクラブ第4回ウォーキングを会員の交流を深め合い組織の拡大につながればと願い、4月8日（土）、25人が参加し実施した。

あいにくの悪天候のなかでの開催であったが、長良川河川敷の一带は、桜の花が満開でしかも雨に濡れた桜の花びらが一段と美しく映え、傘と傘との間から桜を覗くのも愛おしく見えた。傘を差しながらのウォーキングであったが、岐阜公園周辺には、観光名所が多々あるなかで歴史ある名和昆虫館博物館や加藤栄三記念館など、学生時代見学をしたことがなく懐かしく思いだされた。

雨宿り場所として少し足を伸ばした大正寺の巨大な大仏を見学。ガイドさんの説明によると、江戸時代に30余年かけて造られたもので、しかも材料はかご細工で胴体をつくり、周りには泥壁を塗り、表面に漆を塗り、その上に金箔が貼られて仕上げられた大仏様と聞き、江戸時代にこのような技、技術をすでに持っていたこと、しかも高さは13.5メートルもあるとのことに驚かされた。

散策の最後に寄った川原町周辺は、戦前の日本に建てられた風景を思わせる懐かしい建物のなかに入り、ウォーキング中は傘を差しての歩きのために、充分なる近況の話が出来なかったこともあり、歩き疲れを忘れるくらい微笑ましい笑顔を見せながら会話が弾み、悪天候のなかではありましたが楽しい一日を過ごすことが出来た。